

長期資産形成のため 「本気の積立」に取り組む投資家に

商品開発第一部長の有賀潤一郎氏に聞く

長い開発期間を経て 実現できた初のファンド

■前向き(積極) バランスファンド

レバレッジをかけるというアイデアを一番シンプルに実現しようとする、まず考えつくのはお金を借り入れて投資を行うということだが、それは国内の投資信託商品の設計上は許されていない。その代わりに、株式の先物や債券先物を活用することで、お金を借り入れて3倍のレバレッジをかけるのと同じ経済効果を実現した。バランスファンドの中でも、一般的な株式ファンドよりリスクが低く、期待リターンが高い、いわば「前向き(積極) バランスファンド」と呼べるものが出来たということだ。

一般の投資家の方にとって「3倍」というと少し怖いと感じられるかもしれない。しかし、設定してからの値動きは、株が急落した時には債券先物を買われる傾向にあることもあって、結果的に安定的に推移している。

■日本初のファンド

「3倍3分法」のように分散されたポートフォリオにレバレッジをかけることは、必ずしも当社が独自に着想したものではなく、学術的な裏付けもあった。しかし、これまでは技術的な難しさなどがあって存在しなかった。レバレッジをかけて日経平均株価などの2倍や3倍の値動きをめざすファンドはあるが、当ファンドのように分散されたポートフォリオに2倍や3倍のレバレッジをかけたものはない。かつ、当ファンドは各資産への投資比率が基本的に決まっている、「資産配分比率もパッシブ」な運用であり、このような設計のファンドは当ファンドが初めてと考えている。

■シミュレーション

当社が行ったシミュレーション(2003年3月~18年5月)によると、「グローバル3倍3分法ファンド」の配分比率(日本株式、海外先進国株式、海外新興国株式が各20%、日本REIT(不動産投信)、海外先進国REITが各20%、日本国債、米国国債、ドイツ国債、イギリス国債、豪州国債が各40%で投資した場

合、リスク(年率)が平均16.1%、リターン(年率)は平均16.9%という結果が出ている(リターンは月次リターンの平均を年率換算、リスクは月次リターンの標準偏差を年率換算したもの)。「日本株式」「海外先進国株式」「海外新興国株式」「日本REIT」「海外先進国REIT」の各資産(単体)に投資した場合に比べ、いずれよりもリスクが抑えられ、かつ高いリターンを得ている。最大ドローダウンもいずれの資産(単体)よりも低い。「資産分散×レバレッジ」の結果と言える。

■エクイティ資産と債券先物のマイナスの相関性に着目

一般に、株式相場が大きく下がる時には債券が買われる傾向にあるが、米国、ドイツ、イギリス、豪州、日本の各国国債の先物はいずれも、エクイティ資産の株式およびREITとはマイナスの相関関係にある。組み合わせて投資するには両者の相性は良い。逆相関ということは両者が反対に動く傾向があるということだ。もちろん、長期的にはどちらも値上がりすることが期待されるわけだが、比較的目先の動きとしては値動きが反対傾向にあれば打ち消し合う効果が期待できる。また、資産配分比率が基本的に固定されていることから、ファンドマネジャーはいわば機械的に、価格が下がった資産を買って、上がった資産を売ることで、リバランス効果が高い。一般的なレバレッジ型ファンドでは、ポジションの調整が、長期リターンに対してマイナスに働くことがあるが、当ファンドはそれ以上にリバランス効果が期待される。

■ファンド活用のポイント

当ファンドの活用方法としてお勧めしたいことのひとつが積立投資だ。まず積立投資の一般的なメリットを上げると、価格は変動するため、一定数量を定期的に購入することにより、平均購入単価を低く抑えることが期待できる。また、1回当たりの投資は少額から可能だ。加えて、「3倍」の効果がプラスされる。例えば、



毎月1回当たり3万円の投資をしていただくとすると、実質的に毎回9万円投資したのと同じ効果が期待できるという点だ。言い換えれば、3万円を投資することで9万円の経済効果、投資効果と言うこともできる。投資家の方々のお金の有効活用という意味では、「3倍」の効果や投資コスト抑制の観点からも当ファンドは積立投資に非常に適した商品と考えている。比較的類似した積立投資向け商品が投信マーケットに数多く存在する中で、これまであまり存在していないものを作りたいとの思いも、このファンドを開発する後押しとなった。投資家の方々への新しい投資機会の提供は商品開発時の大きなテーマだ。

■アピールポイント

「グローバル3倍3分法ファンド」当社が長くアイデアを温めてきた商品と言える。社内で何度も議論し、商品化を目指してきたが、技術的なハードルが高かった。今般、条件が整い、販売会社の方々のご賛同も得て、設定・運用開始にこぎつけることができた。お客さまに運用実績を見ていただいて、ご理解を深めていただけるように取り組んでいきたい。

繰り返しになるが、投資家の皆さまにはぜひ、積立投資での活用をご検討いただきたいということをメッセージとして強く発信している。レバレッジを効かせて一定のリスクをとりつつ、高いリターン獲得をめざすということで、より長期での積立に適していると考えている。3倍のリスク・リターンを累積していくと高い複利効果が期待できる。当社は「本気の積立」と銘を打って、投資家の方々には積立投資に本気で取り組んでいただきたいと訴えている。